

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期西米良村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮崎県児湯郡西米良村

3 地域再生計画の区域

宮崎県児湯郡西米良村の全域

4 地域再生計画の目標

本村の人口は、1970年には3,412人であったが、以後減少し続け、2020年には1,000人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によれば、2050年の人口は568人と予想されており、2020年の人口1,000人に対して約56.8%となることが見込まれている。

年齢3区分別の人口動態をみると、特に年少人口は、2020年を100とした場合、2050年には44.9まで低下すると見込まれており、子どもの減少が著しく進行することが懸念される。また、生産年齢人口についても同様に減少が続き、高齢化率の上昇とともに、地域経済や地域活動を支える担い手の不足が一層深刻化することが想定されている。

自然動態については、死亡者数が出生者数を常に上回っており、自然減少が続いている。合計特殊出生率については、2018年から2022年までの期間で1.88と宮崎県平均（1.63）を上回っているものの、2025年では出生者数5人、死亡者数15人で▲10人の自然減となっている。

社会動態については、転出者数の方が転入者数より超過する年が多い傾向にあり、2025年では転入者数69人、転出者数58人で11人の社会増と転じたものの、依然として自然減による人口減少数は大きくなっている。

人口減少の背景には、出生者数の減少と高齢化に起因する死亡者数の増加、高齢者の村外施設入所等による転出や本村の生活になじめず転出してしまおう等の要

困があると考えられる。このまま人口減少が進行すれば、地域内の経済活動の縮小による消費力の低下や、地域産業の維持・継続が困難となることが懸念される。さらに、地域社会の存続に深刻な影響を及ぼすおそれがある。

将来にわたり、村民一人ひとりが安全・安心で幸せに暮らし続けられる西米良村を実現するためには、人口減少に対する危機感を村民、関係団体、事業者等と共有し、地域が一体となって地方創生に取り組むことが不可欠である。そのため、結婚・出産・子育て支援等の施策等を充実させ、自然減、社会減の抑制を図るとともに、人口が少なくても持続可能な地域の実現を目指し、必要な施策を推進していく。また、地域資源を生かした雇用の創出や移住・定住の促進を進めていく。また、本村との多様な関わりを持つ関係人口の創出のため「西米良村を応援したい、西米良村とつながりたい」と思ってくださいる村外在住者の方に登録していただく、ふるさと住民登録制度の運用を開始することで、持続可能な地域づくりにつなげていく。

なお、これらに取り組むに当たっては、本計画における基本目標を以下のとおり定め、将来にわたって暮らしやすいと思える村づくりを推進する。

- ・基本目標 1 地域を元気にする人口問題対策
- ・基本目標 2 風土を生かした力強い産業づくり
- ・基本目標 3 暮らしやすさ=いつまでも安心して住み続けられる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	転入者総数	236人	250人	基本目標 1
	出生者数	32人	35人	
	ふるさと住民登録者数	0人	150人	
イ	新規創業件数	2件	10件	基本目標 2
ウ	西米良村が暮らしやすい と感じている住民の割合	76%	90%	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期西米良村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 地域を元気にする人口問題対策事業

イ 風土を生かした力強い産業づくり事業

ウ 暮らしやすさ=いつまでも安心して住み続けられる事業

② 事業の内容

ア 地域を元気にする人口問題対策事業

移住定住対策、関係人口の創出や地域コミュニティの充実等、地域を元気にする人口問題対策に関する事業

【具体的な事業】

- ・お付き合い対策事業
- ・お試し滞在住宅の活用 等

イ 風土を生かした力強い産業づくり事業

西米良ならではの農業生産構想、遊休農地等を活用したゆず生産団地化及び6次産業化推進構想、地域商社等の検討、特産品の産地維持、担い手確保対策、農産物等の販売対策、商工振興対策、観光振興対策、新たな産業の創出等、風土を活かした力強い産業づくりに関する事業

【具体的な事業】

- ・農業生産構想策定
- ・モデル団地の基盤整備 等

ウ 暮らしやすさ=いつまでも安心して住み続けられる事業

- (1) 山林の適正管理、水産資源と河川環境の保全、適切な廃棄物処理・ごみ処理、環境美化啓発の推進等、未来へつなぐ自然環境の維持・保全に

関する事業

【具体的な事業】

- ・市町村森林経営管理事業
- ・森林体験事業 等

(2) 村民の健康づくり、西米良診療所施設の維持管理、医療従事者の人材不足対策、高齢者福祉の充実、障がい者サービスの充実・就労支援、子育て環境の充実、地域コミュニティの維持、暮らしやすい村づくりの推進等、村民の健康づくりと暮らしやすい村づくりに関する事業

【具体的な事業】

- ・特定健診及び特定保健指導
- ・各種がん検診 等

(3) 認定こども園教育の充実、単式学級の維持、各種インストラクターの村内人材養成、郷土愛に溢れ国際感覚を身に付けた人材の育成、教育の情報化推進、伝統文化の継承など、郷土を愛し次代を担う人を育む教育・文化に関する事業

【具体的な事業】

- ・保小中一貫教育連携会議の開催
- ・子ども園地域交流活動の充実 等

(4) 村営住宅の維持管理、上水道・下水道の整備、高度情報通信網の整備、施設老朽化対策、国道・県道改良促進、村道・林道・農道の維持管理、公共交通の維持等、豊かな暮らしを支える基盤整備に関する事業

【具体的な事業】

- ・村営住宅長寿命化計画策定
- ・既存住宅修繕 等

(5) 消防団組織の再編、災害・防災への対応強化、行催事の再検討、健全な財政運営、ふるさと納税の拡充、DXの推進等、安心・安全で自立した村づくりに関する事業 等

【具体的な事業】

- ・自主防災組織の体制の再構築
- ・避難所整備事業 等

※ なお、詳細は第3期西米良村まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））
4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

720,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に、外部有識者で構成する「西米良村総合戦略評価委員会」
において効果等の評価を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検
証後速やかに村公式WEBサイト上で評価結果を公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで